

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年11月18日(土) 12時～15時 定員各6名

【会場】 旧ハッピーモア市場・農園 (宜野湾市志真志1丁目11-247-1)

2. 本日のプログラム 秋のBBQ交流会 (近況報告)

特定医療法人アガペ会合同企画 新オレンジサポート室・遊農くらぶ

3. 参加者数 32人 (内訳：当事者 11名、家族 11名、専門職 10名) 専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、以前から皆で開催したいと要望があったバーベキュー交流会を開催しました。法人運営の“遊農くらぶ”の皆さんも含め、合同企画での開催となり、当日たくさんの参加者で賑わいました。コロナ蔓延による交流会や食事の機会が少なくなった今、仲間と語り一緒に食事時間を楽しみました。肉料理も好評でした。認知症の診断を受けてからトランペットを購入してレッスンに通う当事者の生演奏や、三線演奏に自然と参加者が口ずさむ等、とても有意義な時間を皆さんで共有しました。

5. 所感

カフェ参加者の挑戦したいこと、仲間と共同しての催し…今回、法人・色んな協力者の元で参加者の声を実現できました。人と人との繋がりもそうですが、一人では成し得ない事も其々のマンパワーによってパフォーマンス力が発揮されます。認知症の介護も然り…一人で背負っては倒れてしまいます。色んな専門職の協働・サポートカも借りて介護者も自分の人生や楽しみを満喫すること大切です。今回のスイーツはスコーンをお土産に準備しました♪



★次回予定：2023年12月16日(土) 以上